

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 255 号	氏名	山岡 俊文
学位審査委員	主 査	近藤 宇史	
	副 査	金武 洋	
	副 査	小路 武彦	
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価 本研究は、膠原病に属し、皮膚ばかりでなく全身臓器に障害を及ぼす疾患である全身性強皮症について、Caspase8 自己抗体の病態的意義について検討しようとしたもので、目的は十分に妥当である。			
2 研究手法に関する評価 全身性強皮症患者 70 例について病型分類をするとともに、血清中 Caspase8 自己抗体を ELISA 法および免疫ブロット法で検出した。更に、自己抗体が Caspase8 の活性に及ぼす抑制効果を、患者血清から精製した IgG を用い、recombinant ヒト Caspase8 の切断を測定したもので、研究手法も妥当である。			
3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、			
1) 全身性強皮症、SLE、DM とともに正常に比べて IgG 型 Caspase8 自己抗体が上昇していた。正常人でもこの抗体が存在していた。			
2) IgG 型 Caspase8 自己抗体が高い症例では、軽症型であり、男性が少なく CRP が低値であった。			
3) 患者の IgG 型 Caspase8 自己抗体は Caspase8 の活性を抑制する作用が強かった。これらの結果から IgG 型 Caspase8 自己抗体が病態の新しい血清マーカーとなることを示唆し、今後の皮膚免疫学研究への進展が大いに期待される。			
以上のように本論文は皮膚科学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。			

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 号	氏名	
学位審査委員	主査		㊟
	副査		㊟
	副査		㊟
論文審査の結果の要旨			

(注) 報告番号は記入しないこと